

地域密着型サービス評価の自己評価票【東館】

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		今後も利用者さんの幸せな生活を保つ為に、職員全員で理念に向って努力を重ねたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		今後も、常に理念を頭に置き、日々の支援に活かすような努力をしていく
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		この先も、地域の方との交流を通し、グループホームが少しでも地域に根ざしていけるよう努力する
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		もっと気軽に立ち寄っていただけるような雰囲気作りに努め、日常的な付き合いが出来るよう今後も努力を重ねる
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		今後も地域の方との交流が深められるよう、職員全員で意見を出し合いながら、様々な交流方法を探っていく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	定期的な会議の中で話し合いながら、利用者さんと一緒に広報を配布する際、高齢者の世帯に、いつでも遊びに来ていただけるよう声かけをしている	○	この先も、少しでも高齢者の方の役に立てるよう努力をしていきたい(例えば、訪問医師による講話や介護教室など)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価により、自分達の視野を広める事ができ、定期的に会議を開きながら、各館で具体的に改善に向けた討議を行っている		自分達のプランとして、支援の在り方や具体策を打ち出し、職員全員で今後も取り組んでいく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会議を開催し、ホームの中での現状を理解していただく機会を持つと同時に、その中で出た意見は全体の職員会議で報告し、サービスの向上につなげられるよう取り組んでいる		職員全員で情報を共有しながら、反省の場を持ち、今後もサービス向上に活かしていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区のグループホーム連絡協議会の役員として市町村との交流に努めると同時に、協議会開催の研修会に職員も出席し、サービスの向上に取り組んでいる		この先も、市町村と行き来する機会をつくり、サービス・質の向上に努めていきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現時点で、必要とされる方がおられず活用していないが、必要性がある方には活用できるよう、全職員が内容を学んでいきたい	○	毎月行っている施設内の勉強会の中の課題として取り上げ、今後もみんなで学ぶ機会をつくる
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を開催したり、平日頃から職員同士が声をかけ合う等して、防止に努めている		利用者さんを想う心を持ち続け、今後も虐待のない施設作りに努める

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>まずは施設を見学していただきながら十分な説明を行い、契約の際も十分な説明に加え、質問にも具体的に答え、理解・納得をいただいたうえで契約を結ぶようにしている</p>	<p>今後も疑問があるまま契約を行うことのないよう十分な説明を行い、理解・納得を図る</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>不満や苦情があれば職員会議の中で話し合い、討議したうえで、即座に対応するよう努めている。また、その内容は定期的な運営推進会議の中で報告し、外部の方にも伝達し幅広い意見をいただくよう努めている</p>	<p>この先も、不満や苦情を引き出す努力を重ね、自分達の質の向上に努めていきたい</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、利用者さん個々の状態についてご家族の方にお便りを郵送している。また、毎月行われている家族会議の中でも職員の体制についても話をしたり、掲示板に提示している</p>	<p>必要があれば電話連絡も行いながら、常に報告できるよう、今後も努めていく</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族には面会に来られた際や家族会議の際に、意見や要望をお聞きし、出た意見は「意見要望ノート」に記入する事でみんなで話し合い、運営に反映させる努力をしている</p>	<p>頂いた意見に対しては迅速に回答したり、早急に話し合いの場を設ける努力を重ねると同時に、今後も面会の際に意見がないかを聞き出す努力を重ねる</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>普段から職員の意見や提案があれば聞き、運営に反映させる努力をしている</p>	<p>会議の中で出た意見は解決につなげられるよう努力し、そして今後も、職員が言いやすい環境を整え、意見する場をつくっていきたい</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>柔軟な対応ができるよう、必要な時間に必要人員の確保が出来るよう努めている</p>	<p>今後も、柔軟な調整が出来るよう努めたい</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職を最小限に出来るよう配慮しているが、離職に至った際は次に入職する人を確保し、常に利用者さんが安心した馴染みの関係が築けるよう努力している</p>	<p>ケアプラン担当は、確実に引継ぎを行う事で、利用者さんやご家族に不安を与えない努力を、今後も惜しまず行っていく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、その時期に合った課題や職員にアンケートをとり、職員が知りたい内容を勉強会において習得できるよう計画を立てると共に、施設外においてもその職員に合った内容の研修に参加できる体制を整える努力をしている	新入職の人に対しては、研修期間中「研修ノート」をつけ、毎日を反省しながら利用者さんの支援が行えるよう努力を重ねている
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	様々な研修会に参加することで、他の施設の方と交流を図る事ができるよう、また意見交換を行う事でサービスの質向上ができるよう努めている	他の施設や、資格取得のための実習生を受け入れる事で、常に自分達の質が向上するよう、今後も努力を重ねていく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	社員旅行や忘年会などにより、職員のストレスを回避できるようなシステム作りに努めている	何かあればいつでも話を聞く、常に明るい雰囲気や悩みを作らないような環境を整える努力をしているが、実際のところは個々の受け止め方で異なると考える。しかし、今後もストレスのない職場作りに努めていきたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の力を把握できるよう努めながら、勉強会や会議、または個人個人に対し、自分を見つめ直し次に活かしていけるような助言が出来るよう努めている	一生懸命に取り組んだ事に対するの労いの言葉や、助言により、この仕事に対するのやりがいを感じてもらえるよう、今後も努力を重ねる
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	常に利用者さんの表情を伺い、動きも把握する努力をし、利用者さんの想いを最優先にケアをすすめる事を念頭に努力している	今後も、利用者さんに何かあれば即座に対応し解決へ導けるよう、そして利用者さんの想いを受け止めながら支援する努力を惜しまず行っていく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	認知症である利用者さんの代弁者はご家族であることを念頭に、想いを聞き出す努力をしている	ご家族からの要望を聞くことで、その想いを最優先に考え支援できるよう、今後も努めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何らかのリスクを伴う際は管理者、ご家族、職員、主治医と連携しながらその方にとって最善のサービスが受けられるよう話し合い、適切な対応ができるよう努めている		相談を受けた際は、その場でしっかりと聞き、直ちに対応できるよう、今後も努力を重ねる
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	暫定プランを活用し、それを基にサービスを提供することで、場の雰囲気に慣れていただけるよう努め、ゆっくりと時間をかけ、その方に合ったサービスの提供が行えるよう努めている		利用者さんが安心してサービスを利用できるよう今後もご家族と相談しながら行っていく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々、共に泣いたり笑ったりの感情を大切にしながら、人間らしい生活を送っていただけるよう努力している。また人生の大先輩として利用者さんを尊敬し、毎日の生活の中で様々な事を教えていただいている		利用者さん個々との会話の中で、昔の事を聞き、学ぶ事もたくさんあり、今後も共に楽しい生活を送っていきたい
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	様々な状況において、時には一緒に泣いたり笑ったりしながら、悩みを共有し、利用者さんをご家族と一緒に支えていく努力をしている		ご家族からは以前の利用者さんの様子などをお聞きし、サービスに役立てるよう努め、一緒に利用者さんを支えていく努力を怠る事のないよう、今後も努力していく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者さんの残された人生をご家族の方と一緒に楽しく安心して過ごしていただき、職員が双方の橋渡しとなれるよう努めている		毎月のお便りで利用者さんの様子を理解していただき、より良い関係が築けるよう、今後も努めていく
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来ていただいた際は、温かな雰囲気を保ち、いつでも気軽に来ていただける環境作りに努めている		馴染みの方との思い出話をさせていただく環境を整えながら、その方たちとの関係が崩れないよう、今後も努力を重ねる
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者さん同士の関係性を重視した場所の提供を行うと共に、時には職員が中に入り、利用者さん同士が楽しく会話できるよう配慮している		自室で過ごされる事を好まれる利用者さんに対しては、孤独感を感じることがないように、声かけや、訪室することを惜しまないようにしていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホームの行事の際はお便りを郵送したり年賀状を送るなど、その後の付き合いも大切にしており、感謝の気持ちを忘れず、関係を断ち切らない付き合いを大切に考えている		今後も、いつでも来訪していただけるような環境を整える努力を重ねていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に利用者さん本位の支援に努め、本人と十分話し、意向に添えるような対応を心がけている		利用者さん個々を中心に、担当者・家族・医師・看護師・介護士など、それぞれの専門職が話し合う事で、本人に合ったケアプラン実践に、今後も努めていく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの暮らし方など、これまでの生活を大切に、職員もそれを把握し、本人さんが混乱しないように努めている。また利用者さんの日々の変化にも、職員全員が情報を共有し、よりよい生活を送れるよう日々努力を重ねている		今後も、これまでの情報以外にも、ご家族や利用者さんの周りの方々から多くの情報を収集し、みんなで共有していく努力をしていきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活状況を観察し、その人らしい生活が送れるよう努めると同時に、申し送りを確実にし、その日の状況を把握し、最善の支援が出来るよう努めている		その日その時の心身の状況を把握し、お一人お一人の変化を見逃さないよう今後も努力していく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	その方に関わる全ての専門職が、ご本人さんやご家族の意向を元に話し合いを重ね、個々に応じた介護計画に、それぞれの意見を反映させている		定期的なカンファレンスを開き、介護計画がその時々状況に見合っているかの検討を、今後も重ねていく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状況の変化があれば、随時見直しを行い、全ての関係者が意見を出し合い、ご家族に説明をしたうえで、意見を聞き新たな介護計画を作成している		暫定ケアプランを立て、すぐに話し合いが出来るように今後も努力を重ねる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中・夜間と事細かに記録に残しながら、全ての職員が情報の共有に努め、各々の気づきや工夫をプランに活かしている		ご本人さんが暮らしやすいように考え、試行錯誤しながら、日々の記録を活用し、今後もより良いプランが作成できるよう努めていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	どのような状況下に置かれても、最善の支援が行えるよう、みんなで意見を出し合い、意見を持ち寄りながら、その人らしい支援が出来るように努めている		家庭的な雰囲気を活かしながら、ご本人さんやご家族の意向や要望にも対応できるよう努めると共に、今後も外出や外泊・面会など、いつでもできる環境で対応していきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議や観劇会、夏祭りや餅つきなどのイベントにおいて、地域の皆さんと協力しながら利用者さんが安全に楽しく生活できるような支援を心がけている		この先も、もっと多くの地域の方々の協力を得ながら、利用者さんが安心して過ごせる環境がつけられるよう努力を重ねていく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要時は、利用者さんやご家族の希望に応じ、レンタルベッドや車椅子や靴の購入など、他の機関と話し合い、サービスを取り入れられるようにしている		今後も意向に沿えるような体制を整え、他のサービス機関と話し合いながら支援していく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところは必要性がないが、将来必要に応じて検討していきたい	○	制度についての勉強会を行ってはいるが、全ての職員が把握できていない為、今後も勉強会に取り入れながら学んでいきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人さんやご家族の意向を最優先し、かかりつけ医と事業所の関係を築くよう努め、安心して生活が出来るよう努めている		ご本人さんやご家族の希望により、歯科の訪問診療も活用し、必要に応じた医療が受けられるよう、今後も努めていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>この先も、利用者さん本位の医療が受けられるよう、主治医と話し合う場を多く持ち、支援していく</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>高齢者の健康についての勉強会を行ったり、日々の生活の中での疑問点にも、即座に対応できるような体制作り、今後も努力していきたい</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>連携の病院を確保しており、それ以外にもご家族の希望をお伺いしながら病院を選択している。この先もそれぞれの病院との連携を大切にし、安心した入院生活が送れるよう、そして1日も早く退院し、いつもの生活ができるよう、努力を重ねたい</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>高齢者の方は、いつどのような状況に至るか解らないという事を念頭に置き、どのような状況下でも常にご家族と話し合い、後悔の少ない終末期の支援が出来るよう、今後も努力を重ねていく</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>勉強会を行う事で、常に知識として理解し、どうすれば有効につなげるかの検討も行い、医師や看護師との連携を確実にとっていき、どのような変化にも即座に対応できるように、今後も努力を重ねていく</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>この先も、利用者さんの状況に応じて、リロケーションダメージを防げるような対応を心がけていきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	高齢者の方は自分達の人生の大先輩として受け止め、言葉かけや対応にはその都度気を配り、会議の中でも定期的に話し合いの場を設けている。また、個々に応じた対応方法で、プライバシーの保持にも努めている	記録物に関してもひとまとめにして保管し、取扱いには注意している。この先もプライバシーを保持できるよう、利用者さんお一人お一人に合わせた対応ができるよう、みんなと努めていく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	声かけや説明を行ったうえで支援を開始し、可能な限りその方に決定権を持っていただけるような声かけを工夫している。また、納得できない場合は、無理強いすることなく、ご本人さんの意向を大切にケアを心がけている	ご本人さんの思いや希望を聞き、納得しながら生活が出来るよう、今後も職員個々が注意しながら支援していく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを大切に時間過ごし方、またその場面場面に合わせてその人らしく生活していただけるような支援に努めている	今後も常にゆとりを持って、お一人お一人の利用者さんに応じた支援を心がけていく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に一度、理容師の方に来ていただき、希望をお伺いしながら散髪を行っている。また、希望があればご家族の方に協力していただき、望まれるお店に連れて行っていただけるようにしている	今後も、ご本人さんからお話を聞きながら、必要な洋服を持ってきていただくなど、その人らしい支援に向けての努力を重ねる
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方のできる力に合わせ、一緒に食事の準備や片付け、おやつ作りを行っている。	利用者さんに希望のメニューを尋ね取り入れたり、お一人お一人の身体・認知症のレベルに合わせながらの対応を、今後も重ねていく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者さん個々の好まれる楽しみがあれば、ご家族と話し合いの元、希望に応じた支援を行っている	今後も、楽しみごとを継続する事で、ご本人さんが望まれる生活が送れるような配慮を心がけていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	可能な限りオムツの使用は避け、排泄チェック表を活用する事で、排泄のパターンの熟知に努め、漏れを予防できるよう支援している		排泄中に動かれる利用者さんに対しては、見守りを確実にし、お一人お一人に合わせた対応ができるよう、この先も努力していく
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望される利用者さんに対しては、個別に入浴の時間や曜日の制限は行っておらず、その方の入りたい時間に合わせた対応するよう心がけている		今後も、利用者さんお一人お一人の希望に添えるような対応をしていきたい
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活のリズムが崩れない程度に休息をとっていただき、夜間も安心して就寝していただけるよう個々の部屋の空調管理に努めている。		お部屋で休む事を拒否される利用者さんには、状況によりフロアの畳やソファで休息していただけるよう、お一人お一人に合わせた対応を今後もしていきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人お一人の情報を元に、ご本人さんの意に沿った支援ができるよう心がけていると同時に、その方に合った家事作業のお手伝いやイベントごとの楽しみを提供できるよう心がけている		この先も、出来る限り、その方に応じた役割を探り、その役割が楽しみになるような支援や気晴らしの時間を提供していきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が困難な為、現在、個々で金銭の所持はされていないが、お買物の際、状況が許せばお釣りを受け取ってもらったり、一緒にレジに並んでいただくよう努めている		利用者さんのご希望に応じて、お金を所持される場合は、その方の力に応じた支援をしていきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買出しや屋外散歩を行い、戸外で過ごせる時間を増やすよう努力している		今後も散歩のみでなく、車でドライブによ出かける事により戸外に出られる時間を多くつくる努力をしていく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	時期に応じ、蛍見学や花見などの行事を設け、ご家族の方と一緒に出かけられる機会をつくっている		この先、ご本人さんやご家族の方から、行ってみたいなどのご希望があれば、出かけられるような計画を立てたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人さんの希望により電話をかけたりご本人さん宛てに届いた手紙は読むなどの支援を行っている		ご希望に応じて、お手紙に関しては今後も投函したり、電話をしたりの支援をしていく
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	日中及び夜間の就寝前までは玄関の鍵は施錠せず、気軽に訪問が出来るよう心がけている		常に、ご本人さんの馴染み方が面会に来ていただけるような雰囲気作りに、今後も努めていく
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会にも取り入れ、具体的な行為の熟知を図り、ご本人さんの自由な生活の為に、身体拘束をしないケアを常に心がけている		今後も、利用者さん・ご家族本位のケアを心がけ、身体拘束につながる事のないよう、みんなで学びながら支援していきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は開放しており、夜間のみ安全の為に施錠を行っている。鍵をかけることでご本人さんのストレスにならないよう取り組み、季節や気温によってはホールのドアも開放しており、全職員が鍵をかけない支援を心がけている		鍵をかけないことで、急に外に出られる方も多いため、今後も、常にお人お一人の居場所に目を配るよう心がける
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在の把握に努め、危険な場面に遭遇した場合は、防止できるように、安全に配慮している。		今後も、ゆとりを持ち、職員同士が声をかけ合うことで、安全に配慮した支援ができるよう努力する
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者さん個々の能力に合わせて提供するよう心がけると同時に、危険な物は職員個々が常に管理している		今後も、針や刃物などは職員の見守りの元使用していただき、使用後は定置に戻し、確実に管理していく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会において様々な事を課題にし、事故防止に取り組んでいる。また、事故に関しては職員会議の中で内容を提示し、それについて話し合うことで、防止できるよう努力を重ねている		事故に関しては、今後も全職員で取り組みながら、考え話し合っていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急救護に関しては、定期的(4ヶ月に1回)に勉強会を開催し、消防署より指導していただくようにしている。		急変時の対応に関しても、勉強会の中で職員全員が把握できるよう、今後も常に学ぶシステムをとっていく
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施しており、近隣住民の方にも、もしもの際には協力を得られるよう声かけを行っている		この先も、全職員が慌てず動けるような訓練を行い、近隣の方にも常日頃から協力がいただけるような体制をとれるよう心がける
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所された時から考えられるリスクをご家族にも説明し、そのうえで束縛された生活にならないよう支援して行く事をご理解・納得を頂くよう努めている		予測の出来ないリスクについても、ご家族の方にお話をし、そのうえでリスクはあるがご本人さんの暮らしを大切にするにはどうしたら良いかの対応策を話し合う機会を、今後もつくっていく
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	何らかの些細な変化が起きた際は、24時間体制で速やかに連絡・報告をとる体制にある		常に利用者さんの変化に気付けるように心がけ、迅速な対応ができるよう、医師・看護師・介護士の連携を充実させるよう今後も努力を重ねていく
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	勉強会により理解を深めると同時に、常に介護者の目の届く所に内服の一覧表を作成し掲げ、いつでも確認できるよう努めている		定期内服薬以外の臨時の内服薬が出された場合は、申し送りを通して、職員全員が作用・副作用を理解するよう努めている
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	日頃から水分を促したりマッサージや運動を取り入れるなど、便秘の予防に努めると同時に、勉強会を通し、内容の把握に努めている		便秘の状況になると認知症の方にどのような周辺症状が現れるかという事も加えて勉強会に取り入れ学ぶ努力をしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	なるべく自力で行えるような支援に努めながら、出来ない部分だけを援助するよう努めている。忘れがちな利用者さんにはチェック表を導入し、ケアの忘れがないように取り組んでいる		歯科医師に助言を求め、実践につなげるよう努力をしている。また、毎食後の歯磨き及び週に2回の義歯洗浄を行う事で、今後も清潔に努めていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	誰がどのくらい摂取、飲用しているかが解る様にチェック表を通して把握に努めている。また、その方の状況に応じた食事の形態や、全て介助するのではなく、出来ない部分だけの支援に努めている		この先も、ご本人さんの能力に応じた支援を心がけると同時に、一日を通じてご本人さんの摂取状況の把握に努めていく
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	職員は常に感染予防を念頭に置き、利用者さんへの感染を防ぐよう努力している。また勉強会に取り上げ、全ての職員が感染症の種類や内容など、習得できるよう努めている		インフルエンザに関しては、毎年予防接種を行い、未然に防ぐ事ができるようにしている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に清潔に使用できるよう、調理器具などは毎日消毒を行うと同時に、冷蔵庫の内容はチェック表を使用し、衛生管理に努めている		今後も、衛生管理には十分注意し、食材はその都度購入するよう努めていく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇には花を植え、日中はドアを開放するなど、いつも訪問していただけるような家庭的な雰囲気を出せるよう努めている		今後も、みなさんに気軽に出入りしていただけるよう、全員で工夫していきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	いつでもくつろいでいただけるように畳を設置したり、その季節に合ったものを置くなど、居心地の良い家庭的な雰囲気を出せるよう心がけている		この先も、利用者さんにとって居心地の良い空間を提供できるよう全職員で取り組みたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い人達は二人でソファーに座られおしゃべりを楽しまれたり、お一人が好きな方には一人掛けソファーを準備し、自由に楽しく生活していただけるよう努めている		今後も必要に応じて、時には、ご自分のお部屋で仲の良い人同士で話ができるような支援・対応をしていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分の馴染みの物を置く事で、安心して過ごしていただけるように、仏壇や神棚、テレビなど、お一人お一人の好まれる物を室内に設置していただいている		この先も、安心した環境で居心地よく過ごせる生活を提供できるよう心がけたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、日中、掃除の後などの換気に努めており、温度計と湿度計を設置し、状況に応じた空調の調節に努めている		天気の良い日は朝から換気を行い、利用者さんにも状況をお聞きしながら、この先も管理していく
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家庭的な雰囲気を大切にしつつ、廊下やお風呂など必要な場所には手すりを設置している。またお一人お一人の状況に合わせたベッドを調整・設置している		なるべく自立した生活が送れるような援助を心がけると同時に、今後もご本人さんの安全を考慮しながら支援していく
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お一人お一人の力を把握したうえで、声かけや家事のお手伝いを提供し、その時々状況を見ながら早期に混乱や失敗を防げるよう努めている		今後も出来る事は自分でしていただき、出来た事でやりがいを感じていただけるような支援をしていく
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑では時期に応じ収穫の喜びを感じていただき、テラスにはベンチを設置し、自由な活動が出来るような配慮を心がけている		花を植えたり野菜を育てたりと、利用者さんがその時々で楽しめるような環境を整えるよう、今後も努力を重ねる

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護技術は未熟であっても、利用者さんに対する想いだけはどこにも負けないつもりでいます。職員みんなが利用者さんのために、日々一生懸命支援に取り組んでいます。利用者さんはお一人お一人が感情豊かであり、圧倒される事もありますが、その分裏を返せば、利用者さん方はみんな伸び伸びとご自分のペースで精一杯生きておられる証ではないかと思えます。この先も「その人らしさ」「認知症があっても人間らしさ」を大切に支援させていただこうと思っています。

地域密着型サービス評価の自己評価票【西館】

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者さんやご家族の希望を最大優先とし、ケアプランの徹底に努め、笑顔をもってチームで支援して行く事を目指し、独自の理念を掲げている	今後も利用者さんの幸せな生活を保つ為に、いつも玄関先に掲示し、職員全員で理念に向って努力を重ねたい
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入職時よりホームの理念を元に取り組み内容を説明すると共に、各会議においても関わってくる支援のあり方について話す機会を設け、日々の取り組みにつなげる努力をしている	玄関に理念を掲示し、常に意識付けが出来るように、今後も努めていく
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	日常からご家族や地域の方と会話をもち、家族には家族会議を通し、地域には班会議を通し、理念について理解いただけるよう努めている	玄関先に掲示する事で、いつでも誰もが見やすいように配慮し、この先も、少しでも地域の方との交流を通し、グループホームが地域に根ざしていけるよう努める
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方とお会いした際は、こちらから挨拶をし、毎日のようにお孫さんを連れて遊びに来られている近所の方は、利用者さんとも気軽にお話しをしておられる	もっと近隣の方に立ち寄っていただけるよう、こちらから話しかけたり、近隣の方に参加していただける行事を今後も増やす工夫をしていきたい
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の溝掃除や神社掃除に参加したり、会議に出席したりと、交流が図れるように努めている。また老友会の方々に慰問に来ていただき、利用者さんも楽しいひと時を過ごされる機会を設けている	この先は、保育園の子ども達～高校生の方々とも交流を図るような取り組みを考えていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	各館の会議では地域貢献を目指した取り組みを考えているが、地域の高齢者への支援は具体化していない	○	この先、話し合いを通して具体例を考えると同時に、地域の方も含めた介護教室などを取り入れていけるよう努力したい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を元にみんなで話し合い、問題を解決できるように努め、改善点があればその都度改善計画を立て、質の向上に向け努力を重ねている		今後も定期的な評価会議を行う事で、みんなで改善につなげる努力をしていく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で報告された内容を元に、各会議でも話し合い、サービス向上に向けて努力を重ねている		職員全員で情報を共有しながら、反省の場を持ち、今後もサービス向上に活かしていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月開催している地区の連絡協議会での関係作りを保つと同時に、ホームの行事に参加していただけるような声かけを行っている	○	もっと関わり合う機会を設け、常日頃から協力体制が築けるよう努力を重ねたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ホーム内の勉強会で制度について学ぶ機会をもち、現時点では必要とされる方はおられないが、必要に応じて活用できるようにしていきたい		今後も勉強会の中で取り入れながら、制度を熟知できるよう努力する
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内の勉強会を通して、虐待についての知識を習得し、自分達の周囲で虐待が行われないよう、お互いが注意しながら防止していくよう努めている		利用者さんを想う心を持ち続け、今後も虐待のない施設作りに努める

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時や見取りに関しての契約の際は、度重なる話し合いを行い、十分な説明をしたうえで、理解・納得をいただき契約を行っている</p>	<p>今後も疑問があるまま契約を行うことのないよう十分な説明を行う事で、理解・納得していただけるよう努める</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者さんやご家族の方から意見があった場合はノートに記入し、運営推進会議や職員会議で話し合いの場を設けている</p>	<p>今後も、話し合ったことを解決に向け、運営に反映させる努力をしていく</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会の際はコミュニケーションを図り、様々な報告を行うと同時に、月に1回、ご本人さんの様子をお手紙でお知らせするシステムをとっており、日々関わる職員が書いて郵送している。また職員の異動については、各館の掲示板に添付しお知らせしている</p>	<p>年に3回の広報にも利用者さんの暮らしぶりを写真などを添えて報告しており、今後も様々な手法で報告を重ねて行きたい</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に意見箱を設置し、家族会議の中で苦情や意見を出していただき、改善に向けて取り組む努力をしている</p>	<p>今後も日常の中から意見をいただけるような関係作りに努めていきたい</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月行われる会議において、職員は自由に意見を述べる事ができ、その意見を元に、取り組みや改善策を考えると同時に、適した意見はきちんと聞く体制を整えるよう努めている</p>	<p>相談したり意見を言いやすい雰囲気を保てるよう、今後も努める</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要に応じて職員を確保し、勤務の調整を行うよう努めている。また急な休みに関してはすぐに連絡調整するよう努めている</p>	<p>今後も、柔軟な調整が出来るよう努めたい</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動・離職の際は早めに引継ぎが行えるように配慮し、日々の勤務にあたっては、経験の度合いに応じた組み合わせを行うよう努め、利用者さんにとってのダメージが最小限になるよう努力している</p>	<p>ケアプラン担当は、確実に引継ぎを行う事で、利用者さんやご家族に不安を与えない努力を、今後も惜しまず行っていく</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員には経験のある職員がサポートにあたり、個々の能力や段階に応じて育成し、独り立ちできるよう配慮する努力を重ねている	様々な研修の参加や研究発表への取り組みを行い、日々の学びにできるよう今後も努力を続け、いろんな知識を身につけていきたい
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修や交流会の場へ参加し、地域の同業者と関わる事ができると同時に、ヘルパー講座の研修生を受け入れ、一緒になって日々介護のあり方を学ぶ機会をつくっている	他の施設や、資格取得のための実習生を受け入れる事で、常に自分達の質が向上するよう、今後も努力をしていく
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日頃より職員同士はお互いに相談できるより良い関係作りが出来ている。また、年に1回の職員旅行も設けており、なるべく職員のストレスを軽減できる環境作りに努めている	悩みがあればいつでも相談できる環境を整えながら、今後も職員がストレスを感じないような体制作りに努めていきたい
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の力を把握する事に努め、状況に応じながら評価し、介護という仕事にやりがいを持ってもらえるような体制づくりに努力している	常に向上心をもち続け、「頑張ろう」と思える環境を整えられるよう、今後も努力を重ねたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の段階からしっかりとご本人さんからお話を聞き、想いを汲み取る努力をしている	今後も、利用者さんに何かあれば即座に対応し解決へ導けるよう、そして利用者さんの想いを受け止めながら支援する努力を惜しまず行っていく
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前には必ず見学に来ていただき、事業所の雰囲気を感じてもらおうと同時に、お会いしたうえで想いをしっかり聞いて受け止めることが出来るよう努めている	ご家族からの要望を聞くことで、その想いを最優先に考え支援できるよう、今後も努めていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人さんに一番見合ったサービスが受けられるように見極めるようにしている		今後も相談を受けた際は、利用者さん本人の現在の状況をよく把握し、常にどのサービスを受ければこの方が幸せに過ごせるかを考えられるようにしていく
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	無理なく生活していただく為に、暫定プランを作成し、その日から全職員が馴染みの関係を築けるよう努力している		この先も、利用者さんやご家族の方が安心してサービスを利用できるようご家族と相談しながら行っていく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々利用者さんと生活を共にする中で、悲しみや楽しみなど、様々な想いを共有し、これまで生きてこられた中で培われた沢山のことを教えていただいている		この先も一人の家族として、共に支え合う関係を築けるよう努力を重ねる
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族支援活動をご家族の意向の元に開催しておられ、日常私達が手の届きにくい部分のお掃除やお手伝いをしていただいている。全ての職員が家族との良い関係が保てるよう努力を重ねている		ご家族との信頼関係を築けるよう努力を重ねており、今後も同じ想いを共有し、一緒にご本人さんを支えていく為にも、全職員がご家族に感謝の気持ちを持ち続けていく
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	様々な家庭の事情を踏まえ、全職員が情報収集に努め、把握したうえで良い関係が築けるよう支援に努めている		面会時間の制限もなく、面会によりご本人さんとご家族の絆が強くなり、和やかなひと時が過ごせるよう、今後も努力を重ねて行きたい
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも知人の方が面会に来ていただけるよう、オープンなホーム作りに努めている。また、馴染みの関係が途切れることのないように支援に努めている		ご本人さんやご家族の方にこれまでの環境などのお話を聞き、この先も馴染みの関係が保たれるよう努めて行きたい
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気が合う人・合わない人と様々であるが、その時々関係性を把握し、皆さんが嫌な思いをされないよう配慮しながら支える努力をしている。またお一人お一人が孤立せず、利用者さん同士が関りあう機会も大切にしている		この先も、全職員が配慮しながら統一できるように、努力を重ねて行きたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ホームの行事の際はお便りを郵送したり年賀状を送るなど、その後の付き合いも大切にしており、感謝の気持ちを忘れず、関係を断ち切らない付き合いを大切に考えている		今後も、いつでも来訪していただけるような環境を整える努力を重ねていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人さんと会話や接する機会を多く持つことで、お一人お一人の想いを把握するよう努めると同時に、困難な方に対しては、表情や仕草・日常の様子などからご本人さんの意向を汲み取る努力を重ねている		利用者さん個々を中心に、担当者・家族・医師・看護師・介護士など、それぞれの専門職が話し合う事で、本人に合ったケアプランの実践に、今後も努めていく
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人さんやご家族の方からの情報や生活歴を把握できるように努めており、全職員が共有しながら、お一人お一人の残り少ない人生を、幸せに過ごしていただけるよう支援している		今後も、これまでの情報以外にも、ご家族や利用者さんの周りの方々から多くの情報を収集し、みんなで共有していく努力をしていきたい
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	全職員がお一人お一人の利用者さんの今ある力や性格、生活習慣などを良く観察し、状況の把握を行いながら、その方らしい生活が送れるような支援に努め、可能な限りご自分で行っていただけるようにしている		有する能力や力を把握できるよう努めているが、もしかすると想像のできない力や意向を持っておられるかもしれないため、この先もどんどん発見していきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人さんの為に、ご家族・医師・看護師・ケアマネ・介護士などその方を取り巻く全ての者が意見を持ち寄り、介護計画を作成している。		ご本人さんの意向に添えるようなプラン作りに努め、想いを伝えることが困難な状況の方には、ご家族からの意見を元に介護計画を立案できるよう今後も努力を重ねていく
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々介護計画のチェックと共に、週単位で介護計画を見直せるようになっており、ご本人さんの急な状態変化にも、すぐさま暫定プランを立てている		状態の変化に早期に気付き、必要があれば直ちに暫定ケアプランを立て、すぐに話し合いが出来るように今後も努めていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録があり、一日の様子や気になる点を記録し、申し送りや話し合いの場を持つことで、介護計画にも役立てている		ご本人さんが暮らしやすいように考え、試行錯誤しながら、日々の記録を基に今後もより良いプランが作成できるよう努めていく
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	どのような状況下にも置かれても、最善の支援が行えるようみんな意見を出し合い、意見を持ち寄りながら、その人らしい支援が出来るように努めている		ご本人さんやご家族の意向をお伺いし、その時々々の状況によっては通院介助を行ったり、面会や外泊など、いつでも受け入れられる体制作りを今後もおこなっていく
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議や観劇会、夏祭りや餅つき・観劇会などのイベントにおいて、地域の皆さんと協力しながら利用者さんが安全に楽しく生活できるような支援を心がけている。また4ヶ月に1回消防署より救命救護の指導をいただいている		この先も、もっと多くの地域の方々と協同し合い、利用者さんが安心して過ごせる環境がつけられるよう努力を重ねていく
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じ、利用者さんやご家族の希望に応じ、レンタルベッドや車椅子や靴の購入など、他の機関と話し合い、サービスを取り入れられるようにしている		今後も意向に沿えるような体制を整え、他のサービス機関と話し合いながら支援していく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところは必要性がないが、今後必要に応じて協同していけるよう日頃からの関係作りに努めたい	○	制度についての勉強会を行ってはいるが、全ての職員が把握できていない為、今後も勉強会に取り入れながら学んでいきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人さんやご家族の意向を第一とし、希望されるかかりつけ医があれば、診察していただく体制をとっており、事業所との関係を築きながら医療を受けられるような支援に努めている		ご本人さんやご家族の希望により、歯科の訪問診療も活用し、必要に応じた医療が受けられるよう、今後も努めていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい訪問医師に、疑問に重いことがあれば直ぐに相談し、より良い助言を頂く事ができている		この先も、利用者さん本位の医療が受けられるよう、主治医と話し合う場を多く持ちながら支援していく
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日看護師が常駐しており、利用者さんの健康管理に努めていると同時に、介護職員も不安に思うことは、すぐに相談できる体制作りが出来ている		高齢者の健康についての勉強会を行ったり、日々の生活の中での疑問点にも、即座に対応できるような体制作りにも、今後も努力していきたい
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に関してはご家族の意向の元、病院側との連携も取れており、しっかりとした情報交換を行うよう努めている。退院に向けてもホームドクターと看護師が病院に出向き、今後の方向性について話し合いながら対応するよう努めている		連携の病院を確保しており、それ以外にもご家族の希望をお伺いしながら病院を選択している。この先もそれぞれの病院との連携を大切にし、安心した入院生活が送れるよう、そして1日も早く退院し、いつもの生活ができるよう、努力を重ねたい
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	勉強会を通し知識を身につけ、経験のある職員が指導したり、医師や看護師との連携を持つことで、みんなが同じ気持ちで支援できるよう努めている		高齢者の方は、いつどのような状況になるか解らないと言う事を念頭に置き、どのような状況下でも常にご家族と話し合い、後悔の少ない終末期の支援が出来るよう、今後も努力を重ねていく
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	勉強会を通して私達に出来ること・出来ないことについて考える機会を持ち、みんなの気持ちを統一させ、チームでケアする事を大切にしている		勉強会を行う事で、常に知識として理解し、どうすれば有効につながり事ができるかと検討も行い、医師や看護師との連携を確実にとっていく事で、どのような変化にも即座に対応できるよう、今後も努力を重ねていく
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	関係者間でしっかり話し合い、利用者さんの精神的ダメージを最小限に出来るよう配慮しながら支援するよう努めている		この先も、十分な情報交換を行いながら、ダメージを防げるよう努めていきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入職時に守秘義務についての誓約書も交わし、日常の中でも利用者さんの尊厳を大切にしたいうえで関わりを持つ努力をしている。	記録物に関してもひとまとめにして保管し、取扱いには注意しているが、この先も、利用者さん一人一人に合わせた対応ができるよう、みんなで努めていく
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者さんのペースにあわせた対応を心がけており、自己決定できるよう、ご本人さんの思いの表出に努めながら支援させていただいている	ご本人さんの思いや希望を聞き、納得しながら生活が出来るよう、今後も職員個々が受容しながら支援していく
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先したケアを行うのではなく、利用者さんのペースを大切にしたいケアを提供していきたいと常に考え、その日その時の利用者さんの体調や気分に合わせてながらどの様に支援していけば良いかを考え支援している	自分で気付かないうちに、時間の制限をしている事があるかもしれないので、もっとお一人お一人に合わせた支援を心がけていく
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月に一度、理容師の方に来ていただき、希望をお伺いしながら散髪を行っている。また、希望があればご家族の方に協力していただき、望まれるお店に連れて行っていただけるようにしている	今後も、ご本人さんからお話を聞きながら、必要な洋服を持ってきていただくなど、その人らしい支援に向けての努力を重ねる
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方のできる力に合わせ、一緒に食事の準備や片付け、おやつ作りを行い、メニューに利用者さんが好まれるメニューを取り入れるよう努めている	身体レベルに応じ調理の下ごしらえに携わっていただけるよう、そして食事が楽しみとなるよう今後も努力していく
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人さんが望まれる嗜好品は、健康への大きな害がないか、またご家族の希望はどうかを把握したうえで、自由に好みのものを楽しめるよう、職員が管理・把握に努めながら支援している	今後も、楽しみごとを継続する事で、楽しい日常生活が送れるような配慮を心がけていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	可能な限りオムツの使用は避け、排泄チェック表を活用する事で、排泄のパターンの熟知に努め、漏れを予防できるよう支援している		排泄中に動かれる利用者さんに対しては、見守りを確実にし、お一人お一人に合わせた対応ができるよう、この先も努力していく
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望される利用者さんに対しては、個別に入浴の時間や曜日の制限は行っておらず、その方の入りたい時間に合わせた対応するよう心がけている		その日の体調やご希望・気分に合わせて時間をずらしたり、日を変えたりして、ご本人さんの状況に合わせた入浴が出来るよう、この先も支援していく
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	体調や体力・訴えなどに考慮して、ホールや自室で休養を取っていただくよう配慮し、夜間帯、眠れない方に対しては、温かい飲み物を提供し、眠たくなれるまでホールで過ごしていただくなどの支援に努めている		この先も、その時々状況に応じて、無理強いすることなく、お一人お一人に合わせた対応をしていきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	今ある力を活かして、様々なお手伝いや作業と一緒にしていただいたり、行事の活動や日常の買物・散歩を通し、楽しい生活が送れるよう努めている		この先も、出来る限り、その方に応じた役割を探り、その役割が楽しみになるような支援や気晴らしの時間を提供していきたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者さんの希望に応じてお金の所持・管理・使用まで支援しており、金銭の管理が不可能である方には、買物時に支払いをしていただくなどの支援を行っている		今後も利用者さんのご希望に応じて、お金を所持される場合は、その方の力に応じた支援をしていきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者さんの希望に応じて散歩・買物・ドライブなどに出かけるよう努め、職員同士で外出に向けての支援に努めている	○	郊外に出られる機会作りに努めているが、身体状況から特定の方になっているため、職員間で協働し、外出を通して利用者さんの気分転換に努めていく
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに行事の計画を立て、ご家族の参加と共に季節感を味わえるような機会を設けるよう努めている		この先、ご本人さんやご家族の方から、行ってみたいとご希望があれば、出かけられるような計画を立てたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人さんの希望により電話をかけたりご本人さん宛てに届いた手紙は読むなどの支援を行っている		この先、可能な方には年賀状などの挨拶文などのお便り作成を促していきたいと考えている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	知人の方がおいでになった時は、笑顔で対応し、いつでも訪問していただけるような雰囲気作りを心がけている	○	その時々状況により、バタバタしている事もあり、対応が不十分な事がある為、この先も居心地の良い雰囲気づくりに努めていきたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会の開催や日々のケアの中で、拘束となっていないかを考えながら支援を行い、様々な工夫や見守りに努めながら、安全で安心した生活が送れるよう努力している		今後も、利用者さん・ご家族本位のケアを心がけ、身体拘束につながる事のないよう、みんなで学びながら支援していきたい
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室や玄関の鍵は日中、常に開いている状態で、自室で長く過ごしておられる時は、言葉かけと共にご本人さんの状態把握に努めている		鍵をかけたことで、利用者さんに圧迫感を与えることのないよう、今後もお一人お一人の動きに十分注意しながら支援していく
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者さんのプライバシー保護には十分注意しつつ、常に居場所の確認と、職員同士の声かけを大切にケアを心がけている		時に短時間の間、外に出ておられることがある為、もっと目配り・気配りを徹底していきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者さんの前から様々な「物品」を無くすのではなく、私達がどのようにすれば安全な生活が遅れるかを考えながら支援していくよう心がけている		この先も、お一人お一人の力に合わせ、物品が使えるよう、使用時は注意を払い、後片付けを徹底すると同時に、危険性に合わせた保管場所に確実に保管していく
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会を通して、事故に関する知識を習得し、どのようにすれば未然に防げるかをみんなで考え、日常から声をかけ合いながら防止できるよう努めている		今後も事故報告書の記載と提出により、それを元に会議で分析したり話し合いを持ち、事故防止に向けての意識付けを行っていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急救護に関しては、定期的(4ヶ月に1回)に勉強会を開催し、消防署より指導していただくようにしている。		急変時の対応に関しても、勉強会の中で職員全員が把握できるよう、今後も常に学ぶ姿勢をもち続けたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施しており、近隣住民の方にも、もしもの際には協力を得られるよう声かけを行っている		この先も、全職員が慌てず動けるような訓練を行い、近隣の方にも常日頃から協力がいただけるような体制をとれるよう心がける
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所された時から考えられるリスクをご家族にも説明し、そのうえで束縛された生活にならないよう支援して行く事をご理解・納得を頂くよう努めている		予測の出来ないリスクについても、ご家族の方にお話をし、そのうえでリスクはあるがご本人さんの暮らしを大切にするにはどうしたら良いかの対応策を話し合う機会を、今後もつくっていく
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	利用者さんお一人お一人のことを十分把握したうえで、状態の変化にいち早く気付けるよう、勉強会でも知識を得ながら速やかに医師や看護師に連絡・報告が出来るよう努めている		常に利用者さんの変化に気付けるように心がけ、迅速な対応ができるよう、医師・看護師・介護士の連携を充実させるよう努力を重ねている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	勉強会により理解を深めると同時に、常に介護者の目の届く所に内服の一覧表を作成し掲げ、いつでも確認できるよう努めている		定期内服薬以外の臨時の内服薬が出された場合は、申し送りを通して、職員全員が作用・副作用を理解するよう努めていく。また職員個々が確実にいよう把握ができるよう、学ぶ機会を設けていく
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	勉強会を通し、便秘に関する知識を得ると共に、便秘の予防として毎日牛乳を飲んでいただく、適度な運動をしていただく、また利用者さんによってはヨーグルトを摂っていただくなどの配慮をした支援を心がけている		便秘の状況になると認知症の方にどのような周辺症状が現れるかも加えて勉強会に取り入れ学ぶ努力をしていると同時に、個々の排泄パターンを確実に把握できるよう努めている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	なるべく自力で行えるような支援に努めながら、出来ない部分だけを援助するよう努めている。忘れがちな利用者さんにはチェック表を導入し、ケアの忘れがないように取り組んでいる		歯科医師に助言を求め、実践につなげるよう努めると共に、毎食後の歯磨き及び週に2回の義歯洗浄を行う事で、今後も清潔に努めていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取のチェック表を活用したうえで、お一人お一人の状況を把握すると共に、カロリーブックを参考に、バランスの良い食事作りに努めている		この先も、ご本人さんの能力に応じた支援を心がけると同時に、一日を通じてご本人さんの摂取状況の把握に努めていく
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	その時期に合わせ、予防策や対応策などを勉強会で学んでおり、手洗いの励行やうがい、時にはマスクの着用などで予防を心がけている		インフルエンザに関しては、毎年予防接種を行い、未然に防ぐ事ができるようにしている
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に新鮮な食材を提供できるよう努めており、毎日冷蔵庫内の整理・点検を行い、まな板やコップなども消毒をこまめに行うよう心がけている		今後も、常に衛生管理には十分注意し、食材はその都度購入するよう努めていく
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	日中はドアを開放するなど、いつも訪問していただけるような家庭的な雰囲気を出せるよう努めている		今後も、皆さんに気軽に出入りしていただけるよう、全員で工夫していきたい
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井からは日差しを避けるために、取り外せる日よけを設置し、なるべく家庭的な安心した雰囲気を出せるよう努めている		この先も、もっと細かいところにも目が届くよう配慮し、もっと自分の家らしい環境を提供できるよう工夫を重ねたい
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い人達は二人でソファーに座りおしゃべりを楽しまれたり、お一人が好きな方には一人掛けソファーを準備し、自由に楽しく生活していただけるよう努めている		今後も必要に応じて、時には、ご自分のお部屋で仲の良い人同士が話ができるような支援・対応をしていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者さんが自宅で使用されていたテーブルや椅子を設置したり、仏壇や曾孫さんの写真を飾るなどして、居心地の良い配慮を心がけている		この先も、入所前の安心した環境を提供できるよう心がけたい
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気を十分行い、利用者さんの状況に合わせて室温調整に努めると同時に、温度計や湿度計を設置し、常に室温・換気・加湿や除湿に努めている		天気の良い日は朝から換気を行い、利用者さんにもお聞きしながらこの先も管理に努めていく
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	家庭的な雰囲気を大事にしながら安全面に配慮し、利用者さんの身体・精神状況に合わせて、滑り止めや手すりなどを随所に備え、安全かつ自立を促す工夫をしている		なるべく自立した生活が送れるような援助を心がけると同時に、今後もご本人さんの安全に努めた支援をしていく
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレの場所には解りやすい表を掲げたり、廊下の道筋に沿ってテープで解りやすく表示するなどして、迷われない工夫をすると共に、過剰な支援にならないよう、利用者さんのできない部分のみを手助けするよう心がけている		選択の場において、もっと利用者さんに尋ねるようにし、残存機能を生かすことが出来るよう、そして職員が決定してしまわないよう今後も努力していく
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑では時期に応じ収穫の喜びを感じていただき、テラスにはベンチを設置し、自由に他者と日光浴やおしゃべりを楽しむ事が出来るような配慮を心がけている		花を植えたり野菜を育て、利用者さんがその時々で楽しめるような環境を整えるよう、今後も努力を重ねる

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご家族独自で家族会を運営しておられ、自発的に「家族支援活動」と称し、草取りやワックスがけなどのご協力をいただいております。また訪問医師や看護師には24時間いつでも連絡・報告ができる体制となっており、恵まれた環境の下で仕事ができる事にも感謝しています。このホームでは基本理念に基づき、究極は利用者さん一人一人の残された人生を幸せに過ごしていただく為のホームの取り組みを行っています。その為には私達介護者が、常に笑顔で明るく楽しく、そしてチームを通して利用者さんを支援させていただき感謝を忘れず、今後も努力を重ねたいと思います。